



勝山の学舎

前橋市立勝山小学校

学校通信

第15号

平成31年1月22日

素晴らしいスタートを切った3学期!

1月7日(月)の3学期始業式では、充実した冬休みを過ごし、ケガや事故等もなく、全校児童が元気に登校しました。今年度の「まとめの学期」、「次年度に向けての準備の学期」、「新しい年のスタートの学期」という大切な3学期のスタートをしっかりと切ることができました。各学級において、それぞれの子も達は、3学期の目標を立て、大切なこの学期を充実したものにしていこうという気持ちをしかりともち、授業をはじめ様々な活動に一生懸命に取り組んでいます。



平成30年度のスタートである4月に皆さんにお話した、「自分が頑張れること・得意なことを見つけ、自分の力を伸ばし自信をつける」、「このメンバーで過ごすことができて本当によかったと思える学級をつくる」ことの達成を目指し、残りの2ヶ月、皆さん一人一人、また、みんなで力を合わせて1日1日を大切に過ごしていきましょう!

「キャリア教育」って何?

「キャリア教育」という言葉を耳にしたことがある児童の皆さん、保護者の皆様もいらっしゃると思います。でも、「いったいキャリア教育って何だろう?」、「進路指導(入試や職業体験等)かな」と思われる方が多いのではないかと思います。「入試関係であれば、小学校にはあまり関係ない教育かな?」と思っている方もいらっしゃるのではないかと思います。

「キャリア教育」とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる教育」と定義されています。何か難しいと感じるかもしれませんが、「自分の生き方を見つけ、自分らしく、たくましく生きていくために必要な力や気持ちをつくる」ということです。単に、進学や就職ということではなく、どのように生きていくかということであり、その基盤は大変重要で、小学校においても大きく関わってきます。

では、具体的に小学校では「何のために、どんなことをしているの?」と疑問に思うのではないのでしょうか。実は、キャリア教育という名前で、子ども達や保護者の皆様に伝えていませんが、教育活動の中で、たくさんの関わりのある活動を行っているのです。一例ですが以下に活動をあげてみます。

キャリア教育にかかわる教育活動等	活動等の主なねらい
○各教科の学習	・生きて働くための学力(思考力・判断力・表現力)を身に付ける。 ・自分の得意なこと、好きなことを見つける。
○清掃 ○学級の係活動 ○給食当番	・身近な仕事を体験することを通して、働くことの大切さ・楽しさ等を感じるとともに、働くことの意味や意義に考える。 ・人の役に立つ喜びや意味を考え、自己有用感を味わう。
○委員会活動(5, 6年生) ○縦割り活動・運動会の団活動	・異年齢の活動を通して、自分の役割を意識し、よりよい集団づくりのために自分たちのできることを考え、実行する力をつける。 ・異年齢の交流を通して、下学年の子ども達の面倒を見るという自覚や自信、お兄さんお姉さんへのあこがれの気持ちを育てる。
○様々な校外学習	・社会科や総合的な学習の時間等での校外での学習における様々な働く人や仕事に触れることを通して、仕事の種類や実際に仕事をしている大人の凄さに気付く、自分の生き方につなげる。
○学級活動(学級会)における話し合い	・自分たちで課題を見つけ、考え・判断し・実行することを通して、人と関わる力やよりよい集団をつくる力をつける。 ・自分の生活を振り返り、自分の長所や短所等を知り、よりよく生活していくための方法を考える力や気持ちを育てる。

上記にあげた教育活動は一部であり、言い換えれば学校において行っている活動は全て、キャリア教育に関わり、子ども達の社会的な自立に必要な力を育てることを目指しています。

保護者の皆様には、学校の教育活動が、何を狙っているか等をご理解いただき、ご家庭においても、働くことや将来の夢や目標等について、意識してお子さんと話をいただければ幸いです。

「書き初め」 一筆一筆に今年1年の思いを込めて仕上げました！



3学期がスタートし、1月8日（火）から1月11日（金）の一週間で、各学年において「書き初め」を行いました。

3年生から6年生は毛筆で、1、2年生は硬筆で、一文字一文字丁寧に気持ちを込めて表現しました。3年生から6年生までは、体育館で学年全員で一斉に行いました。どの学年の子ども達も、一切おしゃべりすることなく集中して話を聞き、ピンと張り詰めた空気の中、真剣に取り組んでいる姿を見せてくれました。どの子どもも、一文字一文字に「今年1年、頑張っていくぞ！」とい

う強い気持ちを込めていることが感じられる素晴らしい態度でした。書き初めのよさの一つである「気持ちを落ち着け、集中して自分と向き合い、これからも頑張るという気持ちをもつ」ということを、しっかりと意識して取り組んでいた勝山の子ども達。それぞれの学年、それぞれの子ども達が本当にしっかりと成長し、嬉しい気持ちにさせてもらいました。ぜひ、1年のスタートの、この気持ちを大切に、充実した、より成長できる1年にしてくれることを願っています。

「いじめ」は絶対に許さない！ 子どもと共に居心地のよい学校づくりを目指しています！

「いじめ」は、人権を無視した絶対に許されない行為であり、本校職員も勝山小学校において、「いじめにあっている子ども」、「いじめをしている子ども」が一人もいないことを願って日々の指導・支援に取り組んでいます。

勝山小学校の特色の一つとして、年間を通した「人権教育」の充実があげられます。「なかよし集会」を年2回行い、お互いを大切にし、全員が気持ちよく学校生活を送ることができるよう、全校でスローガンをつくり、それを基に各学級で「なかよし目標」を立て、「おもいやり週間」で、子ども達がそれぞれの目標を意識して、お互いを大切にした行動がとれるように取り組んでいます。このように子ども達と共に、人権意識を高める実践を計画的に行っています。

人権意識の高い人は、周りの人を大切にし、絶対に「いじめ」をしない、許さない人です。そのような考えから、勝山小学校での「人権教育」の取組は、「いじめ」を防止するための取組でもあります。

また、道徳や学級活動、授業をはじめ日々の様々な活動において、「いじめ」について子ども達と共に考えたり、時には友だち同士のトラブルなどで折り合いをつけるために一緒に考えたりする経験を通して、人を大切にする気持ちや「いじめ」をしない・許さない等の人として大切な気持ちを育てています。

このような子ども達との取組のおかげで、現在勝山小学校では、学校に登校できない児童は一人もいません。お互いを認め合い、大切にし合える心が育っているからこそその結果であると考えています。

しかし、そのような中でも、子ども達一人一人個性をもつとともに、発達の段階の関係で、子ども同士のトラブルが起こるのは当然です。そういった経験を通して、子ども達が成長する面もたくさんありますが、子ども達の力だけでは解決が難しい場合は、職員が指導・支援を行い、解決を図っていくこともあります。その点では、常に子ども達の様子を把握するとともに、状況に応じて全ての職員で状況を共有し、一人の職員ではなく、学校全体で組織的に対応をしています。今後も、子ども達と共に居心地のよい勝山小学校を目指し、取り組んでいきます。



「なかよし集会」



「なかよし目標」



「おもいやりの木」

「学校評価」では大変お世話になり、ありがとうございました。

2学期に実施しました「学校評価」では大変お世話になりありがとうございました。結果、分析、改善策等は後日お知らせします。今回の学校通信では、学校評価に関係する内容で作成しました。学校の取組についてご理解いただき、今後も様々な面で、ご協力くださいますようお願いいたします。